



新座中だより

学校教育目標

強く 明るく 考える

〒352-0011 埼玉県新座市野火止2-4-1

TEL 048-478-3668

HP <https://j-niiza-c-niiza.edumap.jp>

新座市立新座中学校

「1学期末号」

令和7年7月18日発行

最後まで全力を尽くした新座中生はカッコよかった！

校長 金子 文春

学校総合体育大会において、「終了」は試合に敗退した瞬間に訪れます。勝った側の選手は狂喜乱舞し、負けた側の選手は泣き崩れる。こんな場面に遭遇する度に考えたことがあります。「**勝ったチームは成功で、負けたチームは失敗なのか？**」。失敗なわけはありません。優勝した1チーム以外がすべて失敗なわけではないのです。つまり、負けたとして、負けたチームなりの美しさがあると私は思うのです。

「絶望的な状況に追い込まれた時に、その人の人間性が表れる。」

このことを痛感させられる場面に出会いました。それは大会3日目、朝霞中央公園陸上競技場で行われたサッカー準々決勝戦です。新座中の対戦相手は、昨年度の全国大会でベスト4まで勝ち進んだ強豪校でした。本年度も県内で優勝候補に挙げられています。その相手と前半戦は互角の勝負を見せ、0-0で折り返しました。運命の後半戦が始まりました。炎天下、蒸し暑さ、相手の巧みな戦術とパス回しに、新座中の選手たちはまさに疲労困ぱいでした。そのような中で相手に先取点を許すと、2点目、3点目を奪われ、気付いてみれば、スコアは「0-4」。サッカーという競技の特性から考えれば、敗色濃厚と言える状況です。そんな時でした。「**終わってない！1点取るぞ！**」。キャプテンの田中さんがチームのみんなに呼び掛けたのです。うつむき加減だった仲間たちはその言葉にうなづき返し、最後の笛が鳴るまで、1点を取りに全力プレーを続けるのでした。バックスタンドにいた保護者の皆さんも「新座中、最後まであきらめな！」と悲鳴に近い声で応援を続けていました。その熱に動かされ、スタンドにいた私も思わず鉄柵に身を乗り出し大声を張り上げていました。準々決勝戦は大差の敗退となりましたが、見る者が心を動かされ、大きな声で応援させられるナイスゲームでした。絶望的な状況に追い込まれた時も、最後の一分一秒まで全力を尽くした新座中の選手たちはカッコよかったし、美しく輝いて見えました。

1学期大変お世話になりました。2学期は合唱祭や体育祭など大きな行事があります。生徒たちが学総で見せた美しい人間性、輝かしいスポーツマンシップにもっともっと触れたいです。44日間に渡る夏休みを、どうか充実したものにしてください。

